

土佐経営塾の開講形式について

今年度の土佐経営塾は、通学形式と遠隔形式（オンライン）のいずれか、あるいはその混成形式で開講します。このことに伴い、受講を希望される方には、通学と遠隔の両形式に柔軟に対応していただくことをお願いいたします。

参加者が同じ場所に集って、ケースについて深く議論したり、グループ発表の準備を進めてたりすることを繰り返す土佐経営塾は、本質的には通学形式に向く講座です。よって状況が許す限りは、ココプラへの通学形式で開講いたします。

しかしながら、感染症社会が到来し、その出口も明らかでない今日、通学形式にばかりこだわっていると、肝心の教育機会が大きく損なわれていくこともまた事実です。そこで土佐経営塾では、講座のコンテンツを通学形式でも遠隔形式でも同じように提供するための準備を進めています。通学形式での開講をベースとしますが、状況に応じて直ちに遠隔形式に切り替えたり、通学形式に戻したりすることで、コロナ、インフルエンザ、異常気象等による通学困難要因が生じて、講座の日程を維持しながら、経営教育の完遂を目指します。

これに伴い、土佐経営塾の受講を希望される方には、下記の環境整備を予めお願いする次第です。いろいろ書いてありますが、下記さえクリアしていただければ、受講者のITリテラシーを特段に大きく求めることもありませんし、リハーサルも十分に行いますので、ご安心ください。コロナ時代の経営教育を切り開くためにも、ここまで記したことへのご理解とご協力をお願いいたします。

◆ 機材など：

12 インチ以上の画面をもつPC（Win/Mac とともに可、スマホや画面の小さいタブレット端末での受講はできません）、ウェブカメラ、マイク

◆ 環境など：

安定した高速インターネット回線、カメラに正対して着座し数時間の講座を落ち着いて受講できる場所、カメラの前で顔が明るく写るための小規模のライティング

◆ ソフトウェアなど：

今回の遠隔授業に用いるオンラインミーティングシステムにはZoom を、また、教材の受け取りや課題提出にはSlack を使用する予定ですので、システムの使用に支障のない環境にあることも必要ですが、これらはすべて無料で入手できます。

また、開講が遠隔であってもなくても、課題の作成やグループワークに欠かせない Word/Excel/PowerPoint、ファイルを添付しての送受信が可能な電子メールシステムも、言うまでもなく必要です。